

ゼロ・ウェイストセンター

上勝ゼロ・ウェイストセンターは、廃棄物処理施設は汚くて臭い場所であるという見方に疑問を投げかけています。この施設には、リサイクルショップ、コミュニティホール、コインランドリー、研究室、さらにホテルまで完備されています。

インスピレーションを与えるデザイン

ゼロ・ウェイストセンターは 2020 年四月にオープンしました。その建物は地元で調達されたスギや、地元の住民から寄贈された窓やドア、家具などで建設されました。その構造は、人々が次のように自問し続けることを忘れないように、クエスチョンマークの形に作られました。「どうしてこれを買うのだろう？」「どうしてこれを捨てるのだろう？」「生産者としてどうしてこれを売っているのだろう？」これらの質問は上勝の人々の頭にたたき込まれ、彼らは自分が使う物や捨て方についてより意識するようになりました。住民はまた、自ら出した非有機廃棄物はセンターに持ち込む前にすべて洗って乾燥させ、また有機廃棄物は自宅で堆肥化して、このセンターで嫌な臭いがしないようにしています。

教育的な分別

45 種類のごみの分別区分用の各ゴミ箱には表示が付いていて、そのアイテムをリサイクルすることが町にとって収入になるのか支出になるのかだけでなく、その収益または支出の額、およびそのアイテムがどこに送られるのかまで分かるようになっています。例えば、ガラスびんは透明なびん、茶色いびん、そしてその他の色のびんに分別されます。ガラスはリサイクルできますが、町はその処理のために費用を負担します。その一方で、金属のボトルキャップは利益をもたらします。一般に、金属と紙は収益を生み出しますが、プラスチックとびんは出費になります。人々はどのゴミが出費につながり、どのゴミが高い利益を生むのかを表示を確認することによって学ぶことができ、自分の買い物を見直すことができます。

上勝のゼロ・ウェイスト宣言を支持する多くの企業が、センターに自社の製品を回収するボックスを設置したので、リサイクルがより便利で効果的になりました。例えば、ある消費財メーカーは、家庭で完全にきれいにするのが難しい、空になった詰め替え用シャンプーや洗剤のパックを回収しています。

くるくるショップ

ゼロ・ウェイストセンターにあるくるくるショップは、住民が要らなくなったけれどまだ使えるアイテムを置いて行くことのできる持ち込みステーションです。非居住者を含め、誰でも無料でアイテムを持って帰ることができます。このショップは予期せぬ雨に見舞われた人に緊急の傘を提供することもできます！

ホテル

クエスチョンマークデザインのドットの部分を構成するホテルが 2020 年五月にオープンしました。一室あたり二～四名で利用できる部屋が四室あります。宿泊客は、廃棄物をそれぞれの異なった区分に分別したり、石鹸を切ったりコーヒー豆を計量して必要な量だけを得たりと、「ゼロ・ウェイスト」体験をすることができます。

共同研究室

この共同ワークスペースは、変化をもたらすことに熱心に取り組んでいる企業や大学、またその他の人々が集まることのできる場所です。彼らはビジネス上の利益と環境への気遣いが一致したときに見出されるメリットを実証するために、魅力的で持続可能な革新的廃棄物ソリューションについて自由に意見を出し合うことができます。